

いしかわ

大百科

～石川県民大学校放送利用講座～



まなびの心
かがやく人生

番組へのご意見は…

- 石川県教育委員会事務局生涯学習課
☎ (076)225-1836
- テレビ金沢 報道制作局制作部
☎ (076)240-3344



放送予定表 令和2年 後期 10月～3月 **手話通訳つき放送**

テレビ金沢 日曜午前 7:00～7:30

提供/石川県教育委員会 企画・制作/テレビ金沢

シリーズ・石川わがまち代表 (全15回)

石川県には国内外に誇れるシンボリックな施設や景観、伝統文化が数多くあります。石川県民が金メダルを贈りたくなるような金沢・加賀・能登それぞれの地域の宝を「わがまちの代表」ととらえ、その魅力を再発見していきます。(このシリーズは4月から続いています)

第9回 11月1日(日)放送 **進化する港 ～金沢港～**

古くは奈良時代に渤海の船が来航、江戸時代には「北前船」が行き交い栄華を極めた大野・金石の港。2つの港が合併して金沢港となり、その後1970年に開港し、石川の海の玄関口としての役割を果たしてきました。ことし新たなシンボル「金沢港クルーズターミナル」が完成、新たな金沢港の魅力に注目が集まります。

第10回 11月22日(日)放送 **キラリ築城の技 ～よみがえる金沢城～**

2014年から調査・復元整備が行われてきた金沢城の西側、黒い海鼠漆喰が特徴の鼠多門と城内最大規模の木橋であった鼠多門橋がいよいよ完成し、かつては金谷出丸という城の郭であった尾山神社の境内と結ばれました。復元整備には、石川の伝統的建造技術が活かされています。二の丸御殿についても復元に向けた取り組みが進められています。

第11回 12月 13日(日)放送 **復活!幻の地豆 ～珠洲・大浜大豆～**

昭和30年代後半頃から徐々に姿を消した珠州市狼煙のろしの地豆「大浜大豆」。地元有志の働きかけでわずかに残っていた種豆から「幻の大豆」が見事復活。商品開発を進め、中でも揚げ浜式製塩法の「にがり」を使った地豆腐は看板商品として地域振興に貢献しています。

第12回 1月24日(日)放送 **冬の兼六園 ～雪吊りの美～**

11月から実施される兼六園の雪吊りは北陸の冬を代表する景観のひとつです。高さ9mの唐崎松に施される雪吊りは「りんご吊り」と呼ばれ、16mの芯柱に800本ものわら縄をかけて造り出されます。園内には大小さまざまな雪吊りが施され、その数は約800か所。いにしえからの優れた造園技術が今に受け継がれています。

第13回 2月14日(日)放送 **工芸王国石川 ～国立工芸館～**

今秋いよいよ開館の運びとなった国立工芸館。工芸を専門とする唯一の国立美術館であり、日本を中心とする近・現代の工芸作品を展示・収蔵する日本海側初の国立美術館です。国の登録有形文化財である「第九師団司令部庁舎」「金沢偕行社」を移築した建物も大きな見どころです。

第14回 3月7日(日)放送 **太古からのメッセージ ～能美古墳群～**

能美市の平野部に点在する能美古墳群は「寺井山」、「和田山」、「末寺山まつじ」、「秋常山あきつね」、「西山」の5つで構成され、これまでに約60基の古墳が見つかっていて国指定史跡になっています。中でも秋常山古墳群の1号墳は4世紀後半に造られたとされ北陸最大の全長140mを誇ります。

第15回 3月28日(日)放送 **堅牢優美 ～輪島塗の沈金～**

全国各地の漆器の中でもその堅牢さで知られる輪島塗。布着せや地の粉を使った下地、その上に何層にも塗って仕上げた後、美しい加飾が施されます。その1つ「沈金」はノミで表面を削って細かい「点描」などで描き、金箔を埋め込む技法。繊細優美なその技は輪島塗の芸術性を高めます。

(都合により放送順序・放送時間が変わることもあります。)

県民大学校については石川県立生涯学習センターまで、お問い合わせ下さい。
〒920-0935 金沢市石引4丁目17番1号 石川県本多の森庁舎2階
電話(076)223-9572 FAX(076)223-9585



大百科セレクション・再放送

これまで放送した『いしかわ大百科』で、視聴者から好評をいただいた回を再放送します。

1月5日(日)放送 **春の奥能登花紀行**

シリーズ・ふるさとを歩く①

頬をさす風がまだ冷たい3月の中ごろ、奥能登の最後の秘境とも言われる輪島市門前町の猿山岬灯台周辺には白やピンクの愛らしい雪割草が見ごろを迎えます。外浦の厳しい自然で育まれた雪割草や深紅ののどきりシマツツジといった美しい花は地元の人たちの献身的な支えによって大切に受け継がれてきました。(2017年4月16日放送)